

人文社会科学部 歴史・人類学専攻（一貫制博士課程）

基礎科目（歴史学分野）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC221	歴史理論 A	1	1.5	1・2					歴史学及び文化人類学の新人院生が、歴史学を学ぶ上で基本となる理論を文献により学ぶ。	西暦偶数年度開講。
02DC222	歴史理論 B	1	1.5	1・2					現在につながる歴史過程について、国家体制の変容を軸に諸理論を学ぶ。	西暦偶数年度開講。
02DC223	史学史 A	1	1.5	1・2	春ABC	水5	人社 B113	津田 博司, 村上 宏昭	第1次世界大戦に関する研究史を題材として、歴史研究の方法論を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
02DC224	史学史 B	1	1.5	1・2	秋ABC	水5	人社 B113	津田 博司, 村上 宏昭	ヨーロッパ社会史研究に関するテキストの講読を通じて、現代歴史学における問題意識と方法論を学ぶ。	西暦奇数年度開講。

専門科目（歴史学分野）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC241	日本史特講I A	1	1.5	1 - 5	春ABC	月4, 5		山澤 学	近世日本社会における文化情況について、原史料（写真版）の読解に基づき、基礎的知識を整理しながら考察する。	隔週開講
02DC242	日本史特講I B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月4, 5		山澤 学	近世日本社会における文化情況について、原史料（写真版）および関連史料の読解を進めつつ考察する。	隔週開講
02DC243	日本史特講II A	1	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通テキストと資料の輪読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	2015年度開講せず。
02DC244	日本史特講II B	1	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通テキストと資料の輪読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	2015年度開講せず。
02DC245	日本史特講III A	1	1.5	1 - 5					中~近世日本史、とくに宗教と社会の歴史に関する史料を読解し、検討する。当科目では先行研究を確認しつつ、未翻刻の文書史料（写真版）を読解、検討する。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC246	日本史特講III B	1	1.5	1 - 5					中~近世日本史、とくに宗教と社会の歴史に関する史料を読解し、検討する。当科目では未翻刻の文書史料（写真版）を検討し、論文作成に向けた、研究上の新たな論点を検討する。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC247	日本史演習I A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5, 6		朴 宣美	近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	隔週開講
02DC248	日本史演習I B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5, 6		朴 宣美	近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	隔週開講
02DC249	日本史演習II A	2	1.5	1 - 5					明治維新以降の政治と社会に関する史料や文献を読み、発表と討論を行う。並行して各自の研究課題についての報告を行う。	2015年度開講せず。
02DC250	日本史演習II B	2	1.5	1 - 5					戦後の政治と社会に関する史料や文献を読み、発表と討論を行う。並行して各自の研究課題についての報告を行う。	2015年度開講せず。
02DC251	日本史演習III A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5, 6		浪川 健治	18世紀中期の政治と社会について、天明期の弘前藩藩主津軽信明の「在国日記」を読み進めることで、地域社会の変動との関わりで捉える。このことよって、近世日本社会の内的なグローバル化への端緒を考察する。	原文史料を用いるが、日記という性格上、十分な古文書の読解力が必要である。 隔週開講 日記の舞台となった弘前藩領（青森県弘前市）へのフィールド・ワーク及び関連する史料の調査を行う。
02DC252	日本史演習III B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5, 6		浪川 健治	弘前藩国許の藩庁日記である「国日記」について、日本史演習III Aで考察した津軽信明治「在国日記」との関連を実証的に比較検討し、18世紀中期以降における展開の歴史的意義を考察する。	十分な古文書の読解力だけでなく、日本近世の転換期理解のための広い視野が求められる。 隔週開講 弘前藩及び比較のために盛岡藩領に関わるフィールド・ワークと史料調査を行う。
02DC253	日本史演習IV A	2	1.5	1 - 5					近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC254	日本史演習IV B	2	1.5	1 - 5					近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC257	日本社会経済史特講 A	1	1.5	1 - 5					天明から寛政期の弘前藩主であった津軽信明の「在国日記」を読解し、当該期の社会状況について検討する。	日記という史料の性格上、十分な古文書の読解力が必要である。 2015年度開講せず。 隔週開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC258	日本社会経済史特講 B	1	1.5	1 - 5					寛政期前半を中心として、弘前藩の藩庁日記を読解し、18世紀後半の近世社会像を考察する。	十分な史料の読解力に加え、フィールド・ワークへの参加が必要である。 2015年度開講せず。 隔週開講
02DC261	日本文化史特講 A	1	1.5	1 - 5	春ABC	金3		伊藤 純郎	昭和戦前期の満洲認識を、満洲移住協会が発行した機関誌『拓け満蒙』『新満洲』『開拓』などの紙面分析を通じて、雑誌メディアと文化の観点から考察する。あわせて修士論文・博士論文の指導も行う。	
02DC262	日本文化史特講 B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金3		伊藤 純郎	昭和戦前期の満洲認識を、満洲移住協会が発行した機関誌『拓け満蒙』『新満洲』『開拓』などの紙面分析を通じて、メディアと文化の視点から考察する。	
02DC263	日本思想史特講 A	1	1.5	1 - 5					最近の新発見史料である岩倉具視宛書簡を中心に検討していく。	2015年度開講せず。
02DC264	日本思想史特講 B	1	1.5	1 - 5					最近の新発見史料である岩倉具視宛書簡を中心に検討していく。	2015年度開講せず。
02DC265	日本宗教社会史特講 A	1	1.5	1 - 5					中~近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では先行研究を確認しつつ、未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を読解、検討する。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC266	日本宗教社会史特講 B	1	1.5	1 - 5					中~近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を検討し、論文作成に向けた、研究上の新たな論点を検討する。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC267	日本史史料学特講 A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火2		中野目 徹	書簡史料の読解を通して近代史料学の構築を模索する。	
02DC268	日本史史料学特講 B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火2		中野目 徹	書簡史料の読解を通して近代史料学の構築を模索する。	
02DC269	日本政治史演習 A	2	1.5	1 - 5					近代日本政治史料の批判的検討。	2015年度開講せず。
02DC270	日本政治史演習 B	2	1.5	1 - 5					近代日本政治史叙述の批判的検討。	2015年度開講せず。
02DC271	日本社会経済史演習 A	2	1.5	1 - 5					天明から寛政期にかけての弘前藩主津軽信の「在国日記」(国文学研究資料館蔵)を中心として18世紀後半の社会状況を考察する。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC272	日本社会経済史演習 B	2	1.5	1 - 5					18世紀後半における近世社会の危機について、「内憂外患」という表現の多面的な内容を検討する。	2015年度開講せず。 隔週開講
02DC275	日本文化史演習 A	2	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通テキストと資料の講読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。 今年度は、1930年の教育文化について、御真影と奉安殿の歴史の変遷に焦点をあて、地域・民衆・生活の視点から絞殺する。あわせて、修士論文・博士論文作成の指導も行う。	2015年度開講せず。
02DC276	日本文化史演習 B	2	1.5	1 - 5					日本近現代史に親する共通テキストと資料の講読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。 今年度は、1930年代の教育文化について、御真影と奉安殿に焦点をあて、地域・民衆・生活の視点から考察する。あわせて、修士論文・博士論文作成の指導も行う。	2015年度開講せず。
02DC283	日本史基礎実習	3	1.0	1・2					日本史研究の基礎的な方法論を修得するため、史料調査を実地に行う。	2015年度開講せず。
02DC284	日本史研究法実習	3	1.0	1・2	春BC	集中		日本史学領域教員	日本史研究の専門的な方法論を修得するため、史料調査を実地に行う。	西暦奇数年度開講。
02DC285	日本史研究基礎演習Ⅰ A	2	1.5	1	春ABC	応談		日本史学領域教員	大学院生として身につけるべき史料の解釈とその歴史の意味についての考察を深化させる。	
02DC286	日本史研究基礎演習Ⅰ B	2	1.5	1	秋ABC	応談		日本史学領域教員	調査の上で収集した史料の解釈とその歴史の意味について、研究史の上に位置づけながら考察をより深化させる。	
02DC287	日本史研究基礎演習Ⅱ A	2	1.5	2	春ABC	応談		日本史学領域教員	日本史研究の方法論を確認し、解読という実証の深化をめざす。修士論文の作成に向け、具体的な構想を提示する。	
02DC288	日本史研究基礎演習Ⅱ B	2	1.5	2	秋ABC	応談		日本史学領域教員	日本史研究のための基盤となる能力を高める。実証性の深化の上に、自らの研究の論理化した歴史過程を呈示し、修士論文としての完成をめざす。	
02DC289	日本史研究指導演習Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	水3, 4	1B204	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3年次対応の演習である。修士論文を基礎として、より高次の実証性と論理性的の獲得を図る。	
02DC290	日本史研究指導演習Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	水3, 4	1B204	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3年次対応の演習である。論文としての構想を広げるとともに、研究上への位置づけを明確化し、博士論文の基礎となるべき学術論文作成を図る。	
02DC291	日本史研究指導演習Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談		日本史学領域教員	博士論文作成のための4年次対応の演習である。学術論文作成の上に、より高次に論理を整合させた課題設定を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC292	日本史研究指導演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための4年次対応の演習である。博士論文作成のための基盤となるべき課題を全体構想のなかに位置づけた学術論文の作成を図る。	
02DC293	日本史研究指導演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための5年次対応の演習である。全体構想の提示を行い、基軸となる論点を明確化する。	
02DC294	日本史研究指導演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための5年次対応の演習である。構想の基軸となる論文を提示し理論的裏付けを明確化する。	
02DC295	日本史研究指導演習IV A	2	1.5	3-5	春ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成をめざす3から5年次の演習である。これまでの既発表学術論文の再構成の上に博士論文としての実証性の深化を図る。	
02DC296	日本史研究指導演習IV B	2	1.5	3-5	秋ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次対応の演習である。論文を研究史上へいかに位置づけ、新たな学術性を獲得することをめざした指導をおこなう。	
02DC297	日本史研究指導演習V A	2	1.5	3-5	春ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次のための演習である。博士論文の完成に向け、実証内容の深化のうえに、研究上新たな知見を提示した、博士論文の全体概要を提示するべく指導を行う。	
02DC298	日本史研究指導演習V B	2	1.5	3-5	秋ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次対応の演習である。博士論文の全体構成を提示させ、実証内容の一層の深化のみならず、学術論文としての論理性を高め、研究上新たな地平を切り開くべく指導を行う。	
02DC325	東洋史特講III A	1	1.5	1-5					清朝の檔案史料を題材としながら、清朝の行政機構・政策過程について、貨幣政策を中心に講義する。	2015年度開講せず。
02DC326	東洋史特講III B	1	1.5	1-5					清朝の檔案史料を題材としながら、清朝の行政機構・政策過程について、財政政策を中心に講義する。	2015年度開講せず。
02DC329	東洋史特講V A	1	1.5	1-5	春ABC	集中	人社 B111		モンゴル史における清代の歴史的位置と遊牧社会を講義する。清代は、モンゴルが満洲の清朝の支配下にあった時期である。清朝がモンゴルに敷いた王公制度と盟旗制度を両輪とする統治体制とその下におかれた遊牧社会については、近年盟旗檔案を用いることにより、その具体的構造が明らかになりつつある。本講義では、清代のモンゴル統治と社会の特質に関わる知見を検討しながら、清朝のモンゴル統治の歴史的位置づけについて考察する。	
02DC330	東洋史特講V B	1	1.5	1-5	秋ABC	集中			19世紀末中国南部のベスト体験について講義する。19世紀末に中国広東省を襲ったベストは、多くの死者をもたらしただけでなく、一部地域ではこの流行によって住民の公共活動が活性化し、民国期へとつらなる新たな潮流が現れた。また香港では、イギリス側の強硬な隔離政策のなかで、西洋に対する中国人の深層意識があらためて明らかとなった。本授業では、ベストの流行を通して見えてくる19世紀末のこうした基層社会の様相を検討するとともに、その際に使用する諸史料を紹介する。	
02DC333	東洋史特講VII A	1	1.5	1-5	春ABC	金6		丸山 宏	本講義においては、中国南部の少数民族の宗教史を考察する。事例として、ランテン系のヤオ族を取りあげ、その清代に書写された漢文宗教文献を講読しながら、ヤオ族の道教と漢族の道教の異同について講義し、研究の意義と課題を明らかにする。特にランテン系ヤオ族の死者儀礼における地獄観をあつかう。	01D0332と同一。
02DC334	東洋史特講VII B	1	1.5	1-5	秋ABC	金6		丸山 宏	本授業においては、中国南部の少数民族の宗教史をテーマとし、清代に書写されたランテン系ヤオ族の漢文宗教文献を講読しながら、ヤオ族の道教儀礼と漢族の道教儀礼の特徴を比較検討する。	01D0334と同一。
02DC343	東洋史演習III A	2	1.5	1-5	春ABC	火4		上田 裕之	清朝の檔案史料の講読を通して清朝支配の特質について考察する。	
02DC344	東洋史演習III B	2	1.5	1-5	秋ABC	火4		上田 裕之	清朝の檔案史料の講読を通して清朝支配の特質について議論する。	
02DC351	東洋史演習VII A	2	1.5	1-5					この演習においては、清代の中国南部におけるヤオ族が漢文で書写した道教儀礼文献のマニスクリプトを解読し、その意義について検討する。特に死者儀礼の開始段階の儀礼項目を扱いたい。学生による解読成果の報告とそれに対する質疑応答を行う。	01D0384と同一。 2015年度開講せず。
02DC352	東洋史演習VII B	2	1.5	1-5					この演習においては清代の中国南部のヤオ族が漢文で書写した道教儀礼文献を解読し、その意義を検討する。特に民族社会の死者儀礼における備の概念、死者救済の方法の記述に注目していく。学生には解読成果の報告を求め、質疑応答を行う。	01D0388と同一。 2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC353	東洋史演習VIII A	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会経済史、華僑史、人文地理学に関する研究書や論文を参加者と輪読し、内容について討論する。社会史研究の方法を重点的に学ぶ。	テキストは受講者と相談して決定する。参加者はテキストについてレジュメを作成し、レポーターとして報告する。 01DQ321と同一。 2015年度開講せず。
02DC354	東洋史演習VIII B	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会経済史、華僑史、人文地理学に関する研究書や論文を参加者と輪読し、内容について討論する。とくに社会史研究の方法を重点的に学ぶ。	テキストは受講者と相談して決定する。参加者はテキストについてレジュメを作成し、レポーターとして報告する。 01DQ323と同一。 2015年度開講せず。
02DC359	東洋社会史特講 A	1	1.5	1 - 5					近現代における中国・台湾・東南アジア華人に関わる社会史の諸問題を論じる。当該分野の先行研究や関連文献を受講者とともに講読していく。	01DQ361と同一。 2015年度開講せず。 テキストは受講者と相談して決定する。成績は出席と授業への積極的な参加状況に基づき決定する。
02DC360	東洋社会史特講 B	1	1.5	1 - 5					近現代における中国・台湾・東南アジア華人に関わる社会史の諸問題を論じる。当該分野の先行研究や関連文献を受講者とともに講読していく。	01DQ363と同一。 2015年度開講せず。 テキストは受講者と相談して決定する。成績は出席と授業への積極的な参加状況に基づき決定する。
02DC369	東洋文化史特講 A	1	1.5	1 - 5					この講義においては、中国の清代末期に漢文で書かれたヤオ族の儀礼文献を精読し、中国南部において漢族の文化を少数民族がいかに受容し再構築したかという文化史上の問題を講義形式で考察する。この講義では主としてヤオ族の道教による葬儀の準備段階の内容を検討する。	01DQ331と同一。 2015年度開講せず。
02DC370	東洋文化史特講 B	1	1.5	1 - 5					この講義においては中国清代末期の手書きの漢文で書かれたヤオ族の儀礼文献を精読し、漢族の道教をヤオ族がいかに理解し彼等なりに再構築したかについて考察する。特にヤオ族の道教式の葬儀の儀礼開始部分に注目する。中国南部の漢族と少数民族の間における、文化接触と文化交流の具体的な表れとして、史料から読み取り得る問題について討論したい。	01DQ333と同一。 2015年度開講せず。
02DC373	東洋経済史演習 A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木2		山本 真	中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	01DQ322と同一。
02DC374	東洋経済史演習 B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木2		山本 真	中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	01DQ324と同一。
02DC379	東洋制度史演習 A	2	1.5	1 - 5					「宮中樞樞批奏摺財政類」の講読を通して、清朝の行政機構・政策過程について考察し、皇帝や各官僚それぞれの視点の相違を踏まえた多面的な歴史叙述へと結びつけていくための基礎的な知識を獲得する。	2015年度開講せず。
02DC380	東洋制度史演習 B	2	1.5	1 - 5					「宮中樞樞批奏摺財政類」の講読を通して、清朝の行政機構・政策過程について考察し、皇帝や各官僚それぞれの視点の相違を踏まえた多面的な歴史叙述へと結びつけていくための能力を涵養する。	2015年度開講せず。
02DC389	東洋史研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	水2	共同利用棟 A202	東洋史学領域教員	1年次生を対象とする春学期の研究演習。研究テーマに関する先行研究の整理、基本的史料の利用方法等について、基礎的演習を行う。	
02DC390	東洋史研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	水2	共同利用棟 A202	東洋史学領域教員	1年次生を対象とする秋学期の研究演習。研究テーマに関する先行研究の整理、基本的史料の利用方法等について、基礎的演習を行う。	
02DC391	東洋史研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B113	東洋史学領域教員	2年次生を対象とする春学期の研究演習。中間評価論文作成にむけて、総括的指導を行う。	
02DC392	東洋史研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B113	東洋史学領域教員	2年次生を対象とする秋学期の研究演習。中間評価論文作成にむけて、総括的指導を行なう。	
02DC393	東洋史研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B113	東洋史学領域教員	3年次生を対象とする春学期の研究演習。関連する隣接諸科学の知識の習得、新たな史料の発掘とその利用について指導する。	
02DC394	東洋史研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B113	東洋史学領域教員	3年次生を対象とする秋学期の研究演習。関連する隣接諸科学の知識、新たな史料の発掘とその利用について指導を行う。	
02DC395	東洋史研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B113	東洋史学領域教員	4年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の内容構成、史料の利用法、論文の全体的な構想の修正と補強に関して、具体的な指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC396	東洋史研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	4年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の内容構成、史料の利用方法、論文の全体的な構想の修正と補強に関して具体的な指導を行う。	
02DC397	東洋史研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文提出に関する、各段階での具体的な指導を行う。	
02DC398	東洋史研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文提出に関する各段階での具体的な指導を行う。	
02DC399	東洋史研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする春学期の研究演習。学会発表、論文投稿等の指導を通じて、自立的な研究能力を養う。	
02DC400	東洋史研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする秋学期の研究演習。学会発表、論文投稿等の指導を通じて、自立的な研究能力を養う。	
02DC401	東洋史研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の完成にむけて、構成や内容について具体的な指導を行う。	
02DC402	東洋史研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社B113	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の完成にむけて、構成や内容の具体的な指導を行う。	
02DC425	西洋史特講III A	1	1.5	1 - 5	春ABC	応談		柴田 大輔	楔形文字アッカド語史料を講読し、この史料を手がかりに前2・1千年紀メソポタミアの文化史について学ぶ。	西暦奇数年度開講。
02DC426	西洋史特講III B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	応談		柴田 大輔	楔形文字アッカド語史料を講読し、この史料を手がかりに前2・1千年紀メソポタミアの宗教史について学ぶ。	西暦奇数年度開講。
02DC427	西洋史特講IV A	1	1.5	1 - 5					シュメル語文法を学習したうえで、平易な楔形文字シュメル語文書を読む。	2015年度開講せず。
02DC428	西洋史特講IV B	1	1.5	1 - 5					楔形文字文書を講読する。	2015年度開講せず。
02DC433	西洋史特講VII A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5		津田 博司	20世紀のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	西暦奇数年度開講。
02DC434	西洋史特講VII B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5		津田 博司	20世紀のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	西暦奇数年度開講。
02DC435	西洋史特講VIII A	1	1.5	1 - 5					近現代のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2015年度開講せず。
02DC436	西洋史特講VIII B	1	1.5	1 - 5					近現代のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2015年度開講せず。
02DC441	西洋史特講XI A	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3		佐藤 千登勢	アメリカ史研究における主要なテーマと史学史を学ぶ。南北戦争期から20世紀初頭に焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。01D0062と同一。
02DC442	西洋史特講XI B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3		佐藤 千登勢	アメリカ史研究における主要なテーマと史学史を学ぶ。20世紀初頭から1990年代までに焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。01D0064と同一。
02DC443	西洋史特講XII A	1	1.5	1 - 5					20世紀前半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	01D0061と同一。2015年度開講せず。
02DC444	西洋史特講XII B	1	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	01D0063と同一。2015年度開講せず。
02DC445	西洋史史料研究I A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火5		山田 重郎	楔形文字の原典からアッカド語で書かれた王碑文を講読する。	参加者はアッカド語の基礎的知識を持つ者に限る。西暦奇数年度開講。
02DC446	西洋史史料研究I B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火5		山田 重郎	楔形文字の原典からアッカド語で書かれた書簡と歴史学文書を講読する。	参加者はアッカド語の基礎的知識を持つ者に限る。西暦奇数年度開講。
02DC447	西洋史史料研究II A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典から前2千年紀にアッシリア方言で書かれた諸文書を講読する。	2015年度開講せず。
02DC448	西洋史史料研究II B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典から前1千年紀にアッシリア方言で書かれた諸文書を講読する。	2015年度開講せず。
02DC453	西洋史史料研究V A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5		村上 宏昭	近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。
02DC454	西洋史史料研究V B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5		村上 宏昭	近代史に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。
02DC455	西洋史史料研究VI A	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ歴史学に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	01D0275と同一。2015年度開講せず。
02DC456	西洋史史料研究VI B	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ近現代史に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	01D0277と同一。2015年度開講せず。
02DC465	西洋史史料研究XI A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木6		村上 宏昭	現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。01D0291と同一。
02DC466	西洋史史料研究XI B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木6		村上 宏昭	現代史に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。01D0292と同一。
02DC467	西洋史史料研究XII A	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ歴史学の理論に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	2015年度開講せず。
02DC468	西洋史史料研究XII B	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ史学史に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	2015年度開講せず。
02DC485	西洋史演習IX A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木4		佐藤 千登勢	アメリカ史の基本的な英語文献を講読し、20世紀のアメリカ史研究に関する理解を深める。1930年代のニューディールに関する文献を取り上げる。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC486	西洋史演習IX B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木4		佐藤 千登勢	アメリカ史の基本的な英語文献を講読し、20世紀のアメリカ史研究に関する理解を深める。第二次世界大戦期のアメリカ社会に関する文献を取り上げる。	西暦奇数年度開講。
02DC487	西洋史演習X A	2	1.5	1 - 5					19世紀から20世紀前半のアメリカにおける社会保障・社会福祉・労働法について学ぶ。	2015年度開講せず。
02DC488	西洋史演習X B	2	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカにおける社会保障・社会福祉・労働法について学ぶ。	2015年度開講せず。
02DC489	西洋史演習XI A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火4		津田 博司	第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。 01DQ289と同一。
02DC490	西洋史演習XI B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火4		津田 博司	第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。 01DQ290と同一。
02DC491	西洋史演習XII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の文化・社会について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	2015年度開講せず。
02DC492	西洋史演習XII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の文化・社会について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	2015年度開講せず。
02DC493	西洋史研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究に関する演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC494	西洋史研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC495	西洋史研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC496	西洋史研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC497	西洋史研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC498	西洋史研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC499	西洋史研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC500	西洋史研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC501	西洋史研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC502	西洋史研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC503	西洋史研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC504	西洋史研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC505	西洋史研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC506	西洋史研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B111	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC521	歴史地理学特講I A	1	1.5	1 - 5					日本の近世の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を概観するとともに、文書史料や地図などの活用方法について解説する。	2013年度より3年おき開講。
02DC522	歴史地理学特講I B	1	1.5	1 - 5					日本の近代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を概観するとともに、文書史料や統計、地図などの活用方法について解説する。	2013年度より3年おき開講。
02DC523	歴史地理学特講II A	1	1.5	1 - 5					日本の地図・地図に関して、従来の研究成果を概観するとともに、歴史地理学における活用方法について解説する。	2014年度より3年おき開講。
02DC524	歴史地理学特講II B	1	1.5	1 - 5					日本の文書史料と統計資料について、従来の研究成果を概観するとともに、歴史地理学における活用方法について解説する。	2014年度より3年おき開講。
02DC525	歴史地理学特講III A	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3		小口 千明	歴史地理学における主要テーマの一つである環境認識研究について、多面的に考察する。	2015年度より3年おき開講。
02DC526	歴史地理学特講III B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3		小口 千明	近年の歴史地理学において重要な動向の一つとなっている生活史の視点について、多面的に考察する。	2015年度より3年おき開講。
02DC529	歴史地理学演習I A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火3		中西 僚太郎	中国の近現代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を論文の購読を通して学習する。	2015年度より3年おき開講。
02DC530	歴史地理学演習I B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火3		中西 僚太郎	中国の近現代の歴史地理学的諸問題に関連する様々な史料の活用方法を学習する。	2015年度より3年おき開講。
02DC533	歴史地理学演習III A	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における生活史の研究動向を検討する。	2013年度より3年おき開講。
02DC534	歴史地理学演習III B	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の動向を検討する。	2013年度より3年おき開講。
02DC535	歴史地理学演習IV A	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の動向を検討する。	2014年度より3年おき開講。
02DC536	歴史地理学演習IV B	2	1.5	1 - 5					環境認識をテーマとする歴史地理学研究の史料、分析方法、知見、諸課題等について検討する。	2014年度より3年おき開講。
02DC537	歴史地理学基礎実習	3	1.0	1	通年	随時		小口 千明	歴史地理学研究における統計図表の作成方法、地図の表現方法などについて、課題を与えて指導する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC538	歴史地理学実習Ⅰ A	3	1.5	1 - 5	夏季休業中	随時		歴史地理学領域教員	特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って掲示する。2015年度より4年おき開講。
02DC539	歴史地理学実習Ⅰ B	3	1.5	1 - 5	秋ABC	随時		歴史地理学領域教員	歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2015年度より4年おき開講。
02DC544	歴史地理学実習Ⅳ A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って掲示する。2013年度より4年おき開講。
02DC545	歴史地理学実習Ⅳ B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2013年度より4年おき開講。
02DC546	歴史地理学実習Ⅴ A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って掲示する。2014年度より4年おき開講。
02DC547	歴史地理学実習Ⅴ B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2014年度より4年おき開講。
02DC548	歴史地理学研究基礎演習Ⅰ A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	1年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC549	歴史地理学研究基礎演習Ⅰ B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	1年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC550	歴史地理学研究基礎演習Ⅱ A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	2年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC551	歴史地理学研究基礎演習Ⅱ B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	2年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC552	歴史地理学研究演習Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	3年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC553	歴史地理学研究演習Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	3年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC554	歴史地理学研究演習Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	4年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC555	歴史地理学研究演習Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	4年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC556	歴史地理学研究演習Ⅲ A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC557	歴史地理学研究演習Ⅲ B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC558	歴史地理学研究演習Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	学位論文提出へ向けての具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の検討を通して考える。	
02DC559	歴史地理学研究演習Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	学位論文提出へ向けての具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC560	歴史地理学研究演習Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	学位論文提出に際しての具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の検討を通して考える。	
02DC561	歴史地理学研究演習Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B111	歴史地理学領域教員	学位論文提出に際しての具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	

専門科目(人類学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC581	先史学研究Ⅰ A	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代における不平等さの形成について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2014年度より3年おき開講。
02DC582	先史学研究Ⅰ B	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代における不平等さの拡大について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2014年度より3年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC583	先史学研究II A	2	1.5	1・2					論文購読を中心に、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する。	2014年度より3年おき開講。
02DC584	先史学研究II B	2	1.5	1・2					実際の物質の観察、分析を通じて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、結果および課題を考察する力を養う。	2014年度より3年おき開講。
02DC585	先史学研究III A	2	1.5	1・2	春ABC	月4		三宅 裕	人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察し、先史学の方法と理論について理解を深める。もの作りの技術の中から冶金術に焦点を当て、その技術的特性ならびに研究方法について理解を深める。	2015年度より3年おき開講。
02DC586	先史学研究III B	2	1.5	1・2	秋ABC	月4		三宅 裕	人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察し、先史学の方法と理論について理解を深める。世界の各地域における冶金術の発展の様相について検討しながら、世界的な視野から冶金術の意義について考える。	2015年度より3年おき開講。
02DC587	先史学研究IV A	2	1.5	1・2	春ABC	金3		谷口 陽子	自分の関心のある領域に引き付けて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について論文購読を中心に理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する力を養う。	2015年度より3年おき開講。
02DC588	先史学研究IV B	2	1.5	1・2	秋ABC	金3		谷口 陽子	Aでの理論を踏まえて、実際の物質の観察、分析を通じて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、結果および課題を考察する力を養う。	2015年度より3年おき開講。
02DC589	先史学研究V A	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。狩猟採集社会の特徴について多方面から検討しているテキストを購読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2013年度より3年おき開講。
02DC590	先史学研究V B	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代の狩猟採集社会に関する論文を購読し、議論を通して具体的に狩猟採集社会像をイメージできるよう努める。	2013年度より3年おき開講。
02DC591	先史学研究VI A	2	1.5	1・2					考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する。	2013年度より3年おき開講。
02DC592	先史学研究VI B	2	1.5	1・2					特定のテーマに特化し、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、最新の学術論文の成果に基づき、結果および課題を考察する。	2013年度より3年おき開講。
02DC595	考古学研究I A	2	1.5	1・2					古墳時代は日本列島における国家形成期と位置づけられ、各地域社会を横断する汎列島規模での重層的な政治構造が成立した時期であると考えられる。この授業では、古墳の存在形態をめぐる従来の議論を批判的に検討することをつうじて、古墳時代における政治構造の変遷とその特質を把握することを目標とする。また、国家形成をめぐる文献史学や人類学の諸成果にも学びつつ、考古学の立場から日本列島の国家形成過程について理解を深めることを目標とする。	2014年度より3年おき開講。
02DC596	考古学研究I B	2	1.5	1・2					古墳時代は近畿地方の勢力を中心として日本列島の広範囲にわたる政治的統合が進展した時期と考えられ、各種の考古資料をめぐる議論においても近畿地方の勢力とのかかわりを重視する傾向が強い。しかし、地域的偏在性を示す考古資料も数多く存在し、そうした資料の分析からさまざまなレベルでの地域圏を想定することも可能である。この授業では、そうした地域的偏在性を示す考古資料のうち、主に東海、関東および九州の事例を取り上げて、古墳時代の地域社会とその特質について理解することを目標とする。	2014年度より3年おき開講。
02DC597	考古学研究II A	2	1.5	1・2					The Ancient West Asian civilization, which had emerged long before Islam surfaced in the Middle East, was an extremely important civilization because it laid the foundation for elements necessary in all modern human societies, from fundamental foodstuff, technological innovation, social systems to the spiritual life. In this class, we examine the conditions of "advancedness" and "universality" of ancient West Asian civilization, and try to illuminate why and how the civilization was able to survive a series of great transitions in human history.	2014年度より3年おき開講。
02DC598	考古学研究II B	2	1.5	1・2					Life and Another world for the ancient Near Eastern People. How did people treat the dead?	2014年度より3年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
02DC599	考古学研究III A		2	1.5	1・2	春ABC	木5	滝沢 誠	弥生時代から古墳時代にかけての社会的変化を理解するにあたり、前方後円墳に代表される古墳がどのような経緯で成立したのかを明らかにすることは、今日もなおきわめて重要な研究課題である。この授業では、弥生墳丘墓の実態をあらためて整理するとともに、初現期の古墳(前方後円墳)がそれらとどのような関係にあるのかを検証することをつづじて、古墳出現の歴史的意義を考察する。	2015年度より3年おき開講。	
02DC600	考古学研究III B		2	1.5	1・2	秋ABC	木5	滝沢 誠	古墳時代の特徴の一つは、弥生時代以来の社会変化をつうじて出現した各地の首長層が広域に及ぶ首長間の交流を実現した点に求めることができる。その交流形態は、中央(王権)と地方の関係にとどまらず、中央(王権)を介さないかたちでの地方と地方の関係においても認められ、また、その交流内容は、政治、経済、宗教、軍事などの多方面にわたっている。この授業では、古墳時代の首長間交流をうかがわせる考古学的事象を順次取り上げて検討し、それぞれの交流の実態や背景を明らかにすることをつづじて、古墳時代首長層の結合形態を考察する。	2015年度より3年おき開講。	
02DC601	考古学研究IV A		2	1.5	1・2	春ABC	火4	常木 晃	葬送の考古学:人はなぜ死者を埋葬するようになったのか、埋葬することでのなにを表現しようとしたのか、埋葬後の葬送儀礼の意味と、その変遷などについて、本研究参加者それぞれの研究テーマで考える。	2015年度より3年おき開講。	
02DC602	考古学研究IV B		2	1.5	1・2	秋ABC	火4	常木 晃	現代の考古学:考古学研究の現代的意味について、本研究の参加者それぞれのテーマで考察を深める。	2015年度より3年おき開講。	
02DC603	考古学研究V A		2	1.5	1・2				日本列島における武器の出現・発達過程を跡づけるとともに、その歴史的意義について理解を深める。	2013年度より3年おき開講。	
02DC604	考古学研究V B		2	1.5	1・2				日本列島の初期社会を主な対象とし、埋葬遺跡の分析から過去の社会を復元する方法について検討する。	2013年度より3年おき開講。	
02DC605	考古学研究VI A		2	1.5	1・2				For further understanding of prehistoric burial practices in West Asia, we read the following book and discuss about how and why the various funeral ceremonies appeared in the ancient West Asia. Book: Karina Croucher, Death and Dying in the Neolithic Near East, Oxford University Press	2013年度より3年おき開講。	
02DC606	考古学研究VI B		2	1.5	1・2				西アジアにおける初期の埋葬について、文献を読みながら討議を重ねる。 Book: Karina Croucher, Death and Dying in the Neolithic Near East, Oxford University Press	2013年度より3年おき開講。	
02DC607	考古学研究VII A		2	1.5	1・2				琉球列島の先史時代の概要を学び、代表的な遺跡について具体的に知ることにより、日本の先史文化の多様性を理解する。	2015年度開講せず。	
02DC608	考古学研究VII B		2	1.5	1・2				主として日本列島における縄文時代から中近世までの人骨調査の事例をあげながら、調査現場における人骨情報の重要性を検討し、それらが原始古代における集団論や儀礼研究にどのように活かされていくかを示して、考古学における人骨研究の面白さを体得する。	2015年度開講せず。	
02DC609	先史学・考古学基礎実習		3	3.0	1・2		集中	先史学・考古学領域教員	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに参加し、基本的な作業を体得する。また、同時にフィールドワークに参加している学群生を指導し、調査指導者として必要な基礎的能力を養う。		
02DC610	先史学・考古学実習		3	3.0	3 - 5		集中	先史学・考古学領域教員	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに主導的な立場で参加し、調査を遂行していく方法について学ぶ。		
02DC611	先史学・考古学基礎研究I A		2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	過去における人類社会の復元とその変遷過程に関する具体的な研究を題材として取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC612	先史学・考古学基礎研究I B		2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	過去における人類社会の復元とその変遷過程に関する具体的な研究を題材として取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC613	先史学・考古学基礎研究II A		2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	修士論文(中間評価論文)の研究テーマに即した題材を取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC614	先史学・考古学基礎研究II B		2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	修士論文(中間評価論文)の研究テーマに即した題材を取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC615	先史学・考古学研究I A		2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC616	先史学・考古学研究I B		2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC617	先史学・考古学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC618	先史学・考古学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC619	先史学・考古学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC620	先史学・考古学研究III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC621	先史学・考古学研究IV A	2	1.5	3-5	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC622	先史学・考古学研究IV B	2	1.5	3-5	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC623	先史学・考古学研究V A	2	1.5	3-5	春ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC624	先史学・考古学研究V B	2	1.5	3-5	秋ABC	応談	人社 B113	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC641	民俗学特講I A	1	1.5	1-2					民俗学の方法をそれぞれの背景とともに検討して将来を展望する	2015年度開講せず。隔週開講
02DC642	民俗学特講I B	1	1.5	1-2					いくつかの民俗誌を検討し、現代の民俗を記述する方法について考える	2015年度開講せず。隔週開講
02DC643	民俗学特講II A	1	1.5	1-2	春ABC	木2	1B201	徳丸 亜木	民俗学において信仰伝承研究がどの様に進められて来たかを踏まえるとともに、民俗学ならびに関連分野の論文を講読し、受講者それぞれの研究関心からの検討を加える。	西暦奇数年度開講。
02DC644	民俗学特講II B	1	1.5	1-2	秋ABC	木2	1B201	徳丸 亜木	民俗学における近年の信仰伝承研究の現状を踏まえるとともに関連分野の論文を講読し、受講者それぞれの研究関心からの検討を加える。	西暦奇数年度開講。
02DC645	民俗学特講III A	1	1.5	1-2						01DQ612と同一。2015年度開講せず。
02DC646	民俗学特講III B	1	1.5	1-2						01DQ622と同一。2015年度開講せず。
02DC647	民俗学特講IV A	1	1.5	1-2	春ABC	月6		中込 睦子	家族・親族・婚姻・死生観などに関する民俗学及び隣接諸科学における代表的論文・著作の講読を行なう。	
02DC648	民俗学特講IV B	1	1.5	1-2	秋ABC	月6		中込 睦子	家族・親族・婚姻・死生観などに関する民俗学及び隣接諸科学における代表的論文・著作の講読を行う。	
02DC649	民俗学特講V A	1	1.5	1-2					人びとの生活に密接に関わる制度、法令について共に考える。	2015年度開講せず。
02DC650	民俗学特講V B	1	1.5	1-2					現地調査によって得られた事例についてA(過去)→B(現状)という事例の変容にとどまらず、A'(過去にあり得た事例)、B'(いずれあり得る事例)など、その過去・現在・将来まで検討する。	2015年度開講せず。
02DC651	民俗学演習I A	2	1.5	1-2					民俗学の目的、概念、方法について、学史をふまえながら整理し、自己の研究が学説史のどこに位置づけられ、現代にどのような意義を持つのかについてまとめる。	2015年度開講せず。
02DC652	民俗学演習I B	2	1.5	1-2					各自フィールドデータに基づく研究発表を中心に、学説史の位置、現代における意義について討論を重ねる。	2015年度開講せず。
02DC653	民俗学演習II A	2	1.5	1-2					本演習では、主に歴史民俗学的視点に関わる民俗学研究ならびに、歴史学・文化人類学・社会学・宗教学など関連領域の研究から文献を選び、講読し、批判的に検討する事により、参加者各々が歴史民俗学的研究に関する知見を深め、自らの研究課題に関わる方法論への検討を行う。参加者は、担当する文献に対して検討を加え、その発表を基に全員で討論を行う。討論への積極的な参加姿勢が望まれる。	2015年度開講せず。
02DC654	民俗学演習II B	2	1.5	1-2					祖先祭祀研究・葬制墓制研究の現在」をテーマとして、日本および東アジアの葬制に関する民俗学および文化人類学の研究論文を講読し、検討する。参加者は、担当する文献に対して検討を加え、その発表を基に全員で討論を行う。討論への積極的な参加姿勢が望まれる。	2015年度開講せず。
02DC655	民俗学演習III A	2	1.5	1-2	春ABC	火5,6	1C404	中野 泰	日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、民俗学的な理解の可能性について、「生業」をとりまくサブシステムの動態を対象に展望することを目的とする。	01DQ616と同一。
02DC656	民俗学演習III B	2	1.5	1-2	秋ABC	火5,6	1C404	中野 泰	日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、民俗学的な理解の可能性について、「生業」をとりまくサブシステムの動態を対象に展望することを目的とする。	01DQ626と同一。
02DC657	民俗学演習IV A	2	1.5	1-2					家族・婚姻・親族・死生観などに関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行う。	2015年度開講せず。2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC658	民俗学演習IV B	2	1.5	1・2					家族・婚姻・親族・死生観などに関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、各自の研究課題を学史の観点から再検討する。	2015年度開講せず。 2015年度開講せず。
02DC659	民俗学演習V A	2	1.5	1・2	春ABC	金2	1B201	武井 基晃	沖縄の位牌継承問題について1980年頃の社会運動の記録をもとに議論する。	西暦奇数年度開講。
02DC660	民俗学演習V B	2	1.5	1・2	秋ABC	金2	1B201	武井 基晃	Folkloreの研究の可能性について議論を交えながら講読する。	西暦奇数年度開講。
02DC661	民俗学研究法特講I A	1	1.5	1・2					2004年12月のインド洋地震津波と2011年3月の東日本大震災に関して漁業、漁民、漁村(海村)の視点から論じられた災害復興、リスク・マネージメント論、リスク・コミュニティ論、復興開発論などに関する文献の講読を中心に、演習と講義による授業を行う。講義ではインド洋地震津波とスリランカ漁村の復興に関するテーマを提供する。	2015年度開講せず。
02DC662	民俗学研究法特講I B	1	1.5	1・2					村落社会における民族誌を材料として考えていく。「家」を中心とした社会の中で、女性の移動と考えられる婚姻はどのような機能を果たし、女性たちの存在は何であったのか。また、家の「跡継ぎ」である子どものしつけや教育はどのように行われていたのか、などについて検討していく。	2015年度開講せず。
02DC665	民俗誌学演習 A	2	1.5	1・2	春ABC	木5,6	人社 B113	古家 信平	日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、その研究枠組みについて、その形成過程から理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 隔週開講
02DC666	民俗誌学演習 B	2	1.5	1・2	秋ABC	木5,6	人社 B113	古家 信平	日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、その研究枠組みの今日的広がりや意義について理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。
02DC667	民俗学研究法実習I A	3	1.5	1	春ABC	応談		民俗学コース教員	1年次生を対象に、フィールドワークの深め方と総合化等、今後の民俗学研究の基礎となる研究法を訓練する。フィールドや調査テーマについての事前学習会実施を補助する。	
02DC668	民俗学研究法実習I B	3	1.5	1	秋A	集中		民俗学コース教員	1年次生を対象に、フィールドや調査テーマについての事前学習会実施の補助を継続し、実習前に予備調査を行う。10月末頃に1週間程度のフィールドワークを行い、フィールドワークで得られた資料を基にして報告書を作成する。	
02DC669	民俗学研究法実習II A	3	1.5	3	春ABC	応談		民俗学コース教員	3年次生を対象に、実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査に主体的に関わり、調査と研究の方法全般についてより高度な訓練を行う。	
02DC670	民俗学研究法実習II B	3	1.5	3	秋A	集中		民俗学コース教員	3年次生を対象に、実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査、本調査、事後学習会に主体的に関わる事により、特定地域の民俗調査とその報告、民俗調査の実務、およびフィールドワークの指導方法を学ぶ。研究テーマに即したレポートや小論文の執筆を課す。	
02DC671	民俗学基礎研究I A	2	1.5	1	春ABC	水2,3	1B401	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。1年次生を対象とする基礎的セミナー。卒業論文までの研究テーマについての研究発表に基づき、参加者による討論を行う。	
02DC672	民俗学基礎研究I B	2	1.5	1	秋ABC	水2,3	1B401	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。1年次生を対象とする基礎的セミナー。中間評価論文で扱う研究テーマについて資料収集を進め、整理を成し得た資料に基づいて研究発表を行い、参加者による討論を行う。	
02DC673	民俗学基礎研究II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、調査内容の設定、論文の構想に関わる指導を行う。2年生を対象とする初級セミナー。今後の研究課題を明確化し、修士論文を完成させる。	
02DC674	民俗学基礎研究II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	1B301	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文の構想、資料提示と論旨の展開方法など論文執筆に関わる指導を行う。2年生を対象とする初級セミナー。参加者各人が自己の中間評価論文テーマに関する研究発表を行い、修士論文を完成させる。	
02DC675	民俗学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文のテーマ選定を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	
02DC676	民俗学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文に向けての研究計画、調査計画に関わる指導を行う。	
02DC677	民俗学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。博士論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	
02DC678	民俗学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。具体的な調査データに基づいて博士論文の全体構成を検討する。	
02DC679	民俗学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	5年次生を対象とする上級セミナー。博士論文の完成を目標として、概要および課題について指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC680	民俗学研究III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	5年次生を対象とする上級セミナー。実際に論文を執筆しながらさらに研究課題を明確化し、博士論文を完成させる。	
02DC681	民俗学研究IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	5年生を対象とし、博士論文完成に向けて、課題、論理構成について研究発表をする。	
02DC682	民俗学研究IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	5年生を対象とし、博士論文の完成を目標として、事例の分析・考察についてより高度な発表を行う。	
02DC683	民俗学研究V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	5年次生を対象として、論文執筆に関わる指導と議論を通して、博士論文を完成させる。	
02DC684	民俗学研究V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B111	民俗学コース教員	5年次生を対象として、博士論文の各章について事例の分析・考察をより高度化させ発表し、博士論文を完成させる。	
02DC705	文化人類学特講III A	1	1.5	1・2					理論と民族誌の関係を批判的に検討する。フォーコの生政治の図式を、規律の民族誌に応用することの問題について考察する。また人類学の営みが、哲学を一方的に応用するだけでなく、生産的に批判する可能性について、民族誌を使った事例研究を行う。	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC706	文化人類学特講III B	1	1.5	1・2					精神分析学の方法を使った人類学の研究の可能性と問題点を批判的に検討する。	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC707	民族誌学I A	1	1.5	1・2					During modules AB, we discuss the possibilities and limitations of the anthropology of science. (bilingual) During module C, we examine the Bourdieurienne critique of science studies. (in English)	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC708	民族誌学I B	1	1.5	1・2					ラトゥールの科学の人類学の可能性と限界について議論する。	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC709	民族誌学II A	1	1.5	1・2	春ABC	集中		モハーチ ゲルゲイ	本授業では、世界各地の民族誌的事例を比較しながら、身体・社会・科学技術との関わりについての理解を深めることを目的とする。病気と健康の多様性をめぐる諸課題を中心に、科学技術社会論と医療人類学の分野における近年の動向を概観する。	英語と日本語で授業
02DC710	民族誌学II B	1	1.5	1・2	秋ABC	集中		高野 さやか	現代社会を扱った民族誌を精読し、先行研究を丁寧に読み解き、自身の研究を深める作業を共有する。扱う文献は、いくつかの候補のなかから参加者の関心を加味して決定する。	英語と日本語で授業
02DC713	文化人類学演習I A	2	1.5	1・2					This seminar will focus on the most recent work of anthropologist / philosopher Tim Ingold. It will also focus on selected readings in STS studies. Grading requirements consist of a weekly reading, a weekly review and set of questions, and a final paper and a final presentation all in "individual appropriate" English. That is to say goal of this seminar is to better understand contemporary anthropology and participate with effective communication strategies. The goal is not the perfection of English language skills.	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC714	文化人類学演習I B	2	1.5	1・2					This seminar will focus on the most recent work of anthropologist / philosophers Eduardo Kohn and Michael Jackson. Grading requirements consist of a weekly reading, a weekly review and set of questions, and a final paper and a final presentation all in "individual appropriate" English. That is to say goal of this seminar is to better understand contemporary anthropology and participate with effective communication strategies. The goal is not the perfection of English language skills.	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC717	文化人類学演習III A	2	1.5	1・2					This Post-Graduate Zemi is conducted in English. The purpose is to delve into recent theoretical themes and methodological issues in anthropological research and writing in a largely Euro-American (socio-cultural anthropology) context. Geographic area and topical interests are highly variable. Previous Zemi topics have included posthuman, cosmopolitan, and affect oriented approaches. Grades are based on papers, projects, and presentations.	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC718	文化人類学演習III B	2	1.5	1・2					This Post-Graduate Zemi is conducted in English. The purpose is to delve into recent theoretical themes and methodological issues in anthropological research and writing in a largely Euro-American (socio-cultural anthropology) context. Geographic area and topical interests are highly variable. Previous Zemi topics have included posthuman, cosmopolitan, and affect oriented approaches. Grades are based on papers, projects, and presentations.	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC719	民族誌学演習I A	2	1.5	1・2	春ABC	水2		木村 周平	事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。今回は特に主体性、苦しみ、情動(subjectivity, suffering, and affection)をテーマに、1980年代以降の研究手法について扱う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC720	民族誌学演習I B	2	1.5	1・2	秋ABC	水2		木村 周平	事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。今回は特に物質性(materiality)をテーマに、物質文化研究から科学技術社会論に至るアプローチについて理解を深める。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC721	民族誌学演習II A	2	1.5	1・2					フィールドで人類学の概念を見だし、これを使って世界をクリティカルに記述し直す様々な技法について、事例研究を行う。	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC722	民族誌学演習II B	2	1.5	1・2					クリティカルな人類学を書くために、どのような民族誌の記述の方法があるのか? どのような理論の使い方が良いのか? どのような議論の方法があるのか? 具体的な事例研究を通して、これらの間に実践的に答えるトレーニングを行う。	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC723	民族誌学演習III A	2	1.5	1・2					現実世界とより深く関わる人類学のあり方を、近年の研究成果を検討しつつ、具体的な事例を通して探求する。	Cモジュールでの講義は基本的に英語を用いる。2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC724	民族誌学演習III B	2	1.5	1・2					現実世界とより深く関わる人類学・民族誌のあり方を、具体的な事例についての検討と議論を通して探求する。	2015年度開講せず。英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC725	文化人類学研究法実習I A	3	1.5	1	春ABC	応談		文化人類学コース教員	1年次生を対象として、フィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC726	文化人類学研究法実習I B	3	1.5	1	秋ABC	応談		文化人類学コース教員	1年次生を対象として、修士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC727	文化人類学研究法実習II A	3	1.5	3	春ABC	応談		文化人類学コース教員	3年次生を対象として、博士論文作成に向けてフィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC728	文化人類学研究法実習II B	3	1.5	3	秋ABC	応談		文化人類学コース教員	3年次生を対象として、博士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC729	文化人類学基礎研究I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	1年次生を対象として、学生各自が修士論文に関わる理論や地域情報に関する発表を行う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC730	文化人類学基礎研究I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	1年次生を対象として、学生各自が理論や文献に関する発表を行い、修士論文の研究課題を決定する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC731	文化人類学基礎研究II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	2年次生を対象として、学生各自が修士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC732	文化人類学基礎研究II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	2年次生を対象として、学生各自が研究課題に即した発表を行い、論文の作成能力を養う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC733	文化人類学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC734	文化人類学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即して対象社会の情報を分析し、発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC735	文化人類学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	4年次生を対象として、博士論文の執筆に向けて、学生各自がフィールドワークで収集した資料を整理・分析して発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC736	文化人類学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	4年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即した対象社会の情報を分析し、比較考察した成果を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC737	文化人類学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題およびその構成を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC738	文化人類学研究III B	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文について民族誌の記述、理論に関わる分析を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC739	文化人類学研究Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の各章について理論的考察を交えて発表する。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC740	文化人類学研究Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文完成に向けて、学生各自が民族誌の記述、理論に関わる分析・考察をより精緻化させて発表する。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC741	文化人類学研究Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文完成に向けて、学生各自が民族誌の記述、理論に関わる分析・考察をより高度化させて発表する。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC742	文化人類学研究Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B113	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文の各章について、学生各自が理論に関わる分析・考察をより高度化させ発表し、博士論文を完成させる。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる

専門科目(複合分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC761	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	3年次生を対象とする研究演習。研究報告に多面的な指導を加える。修士論文を進展させるため、歴史学と民俗学の研究手法の基礎を養う。	
02DC762	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	3年次生を対象とする研究演習。修士論文を進展させ、博士論文に向けて課題を整理する。研究報告に歴史学と民俗学の研究手法を融合させて多面的な指導を加える。	
02DC763	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	4年次生を対象とする。課程博士論文完成に向け全体的構想のため歴史学と民俗学の研究手法を融合させて指導を行う。	
02DC764	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	4年次生を対象とする。課程博士論文の全体的構想と内容構成について構想発表会等を行い、歴史学と民俗学の研究手法を融合させて指導する。	
02DC765	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅲ A	2	1.5	5	春ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	5年次生を対象とする。博士論文提出までの各段階に必要となる指導を歴史学と民俗学の研究手法を融合させて行う。	
02DC766	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅲ B	2	1.5	5	秋ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	5年次生を対象とする。博士論文について草稿の査読と提出可否の決定、正式提出等、段階に応じた指導を歴史学と民俗学の研究手法を融合させて行う。	
02DC767	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	研究課題に合わせた歴史・民俗に関する情報の分析を深化させ、学会発表や学術雑誌への投稿を前提とする研究報告を行う。	
02DC768	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	研究課題に合わせた歴史・民俗に関する情報の分析を深化させ、学会発表や学術雑誌への投稿を完成させる。	
02DC769	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	課程博士論文の完成に向け、草稿執筆に沿って研究課題に合わせた歴史・民俗に関する情報の検討を行う。	
02DC770	現代東アジア歴史・民俗研究演習Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談		現代東アジア歴史・民俗研究領域教員	課程博士論文の完成稿の提出に向け、研究課題に合わせた歴史・民俗に関する最終的な指導を行う。	
02DC781	地中海・西アジア研究演習Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC782	地中海・西アジア研究演習Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC783	地中海・西アジア研究演習Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC784	地中海・西アジア研究演習Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC785	地中海・西アジア研究演習Ⅲ A	2	1.5	5	春ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC786	地中海・西アジア研究演習Ⅲ B	2	1.5	5	秋ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC787	地中海・西アジア研究演習Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC788	地中海・西アジア研究演習Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC789	地中海・西アジア研究演習Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC790	地中海・西アジア研究演習Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談		地中海・西アジア研究領域教員	地中海・西アジア地域に関する考古学的・文献歴史学的研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	